

防犯講演資料

平成30年9月10日
新富町あすなろ学級

- 1 健康管理(腰痛対策)
 - ・アイシングの効能
 - ・テニスボール(公式用)の活用方法

- 2 防犯研修(訓練)の必要性和地震対策について
 - ・ 相模原市の知的障害者施設で発生した殺傷事件の教訓
 - ・ 大分県四日市の認定こども園での不審者侵入事件での教訓
 - ・ 地震で役に立つのは何か
 - 懐中電気、ホイッスルは枕許に置くだけでは駄目。
 - 額縁のガラスが危険 2階に休む人はロープと履物を用意しておく。

- 3 高齢者が狙われる犯罪の種類と防止対策等
 - (1) 窃盗の手口から
 - ・ クレセント錠の「ゆすり外し」。
 - ・ 「居空き」に注意。

- 3 犯罪に使われている凶器
スタンガン 催涙スプレー等の防犯グッズが凶器になっている

- 4 日頃の考え方で70パーセント被害を防ぐことができる
「まさか」と「もしかしたら」の差
※例)夜中に玄関の戸を開けたところ見知らぬ男が立っていた場合
まさかでは……………声が出ない 逃げようと思っても足が動かない
もしかしたらの考えは、防犯だけではなく交通事故防止にも役立つ

- 5 いざという時の簡単な護身要領
 - (1) 絶体絶命(逃げられない場合)の場合は抵抗する。
 - ア 間合いを取る。身構える。
 - イ 大声を出す(威嚇と自分を落ち着かせる効果がある)。
 - ウ 身近にある物を護身用具に使う。
 - 例…殺虫剤、消火器、棒切れ、石ころ、バッグなど
 - (2) 手首をつかまれた場合の対処要領…3つ
 - (3) 首を絞められた場合の対処方法…両手で自分の首を覆う。

以上